

ちの市議会だより

第25号

2018年5月23日

発行／茅野市議会

編集／議会広報部会

〒391-8501

長野県茅野市塚原二丁目6番1号

☎ 0266-72-2101

FAX 0266-73-7936

<http://www.city.chino.lg.jp/>

WEBで検索

茅野市議会

検索

目次

委員会の審査……………	37
本会議討論……………	41
議決結果・賛否一覧……………	42
一般質問通告一覧……………	43
シリーズ「市民は議員の そこが知りたい」……………	44
議会運営委員会行政視察報告、 編集室より……………	45
	46
	47

平成30年3月 定例会のあらまし

茅野市議会3月定例会は、2月23日(金)から3月22日(木)までの会期で開催されました。補正予算や条例など26議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、承認されました。

平成30年度予算を可決 一般会計248億7千万円

前年度比20億3千万円(8.9%)の増
平成30年3月定例会に上程された新年度予算案について、全議員が所属する「予算決算委員会」で審査を行いました。

茅野市議会

「議会改革を進めます」

茅野市議会では議会改革の長期課題となっていた項目について、『議会基本条例検討会』と『議員定数、常任委員会組織、議員報酬検討会』の二つの組織を立ち上げ「調査、研究」を始めました。

議会基本条例については全国の市議会において約60%が制定済みです。質の高い議会活動や信頼される議会になるために、議会基本条例は必要かを調査研究していきます。

また、市民に対して議会としての責任を果たしていくためには、今の議会のあり方で良いか、今の議会の組織で良いか、についても調査研究していきます。市民に開かれた、市民に信頼される議会を目指して活動していきます。



議会基本条例検討会 他市視察の様子

総合計画特別委員会

委員長 宮坂 武男

第5次茅野市総合計画

総合計画を策定し、地域経営を行ってきた。平成30年度を始める「第5次茅野市総合計画」は市政の長期的な全体像を示し、各政策の基本的な方向を明らかにするため、茅野市が行うすべての政策や施策、事業の根拠となる最上位の計画であり、「基本構想」及び「基本計画」により構成され、基本構想は、市の長期的な市政経営に係る目指すまちの将来像「八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなすやさしさと活力あるまち」及び将来像を実現するために6つの基本政策を設定し、基本政策の枠組みにとらわれず、一つの取組で多面的な効果を生み出す施策や事業を政策横断プロジェクトとして位置づけている。

茅野市では、昭和48年度から目指すべき都市像の実現に向け、

議会では特別委員会を立ち上げ議員18人が所属し、集中審査を行いました。委員会では、多くの委員から計画の策定過程、政策等に関する質疑が活発に出されました。

議案第4号

第5次茅野市総合計画

基本構想について

可決

この議案は平成28年9月に制定された茅野市総合計画条例に基づき、市の目指すまちの将来像を明らかにするとともに、総合的かつ計画的な市政を推進するため、茅野市の最上位の計画として、市民

委員会では専門的に審査し、その後、本会議にて議員全員で最終決定します。

予算決算委員会

委員長 北沢 千登勢

議案第18号

平成30年度茅野市一般会計 予算について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ248億7千万円と定めるもの。

主な事業

- ・ 保育園の施設整備の推進に係る事業
- ・ 観光を活かしたまちづくりの推進に係る事業
- ・ 公立諏訪東京理科大学への財政支援に係る事業
- ・ 市制施行60周年記念事業

【討論】

● 反対意見

「農家が特産品を栽培・加工・販売するための予算や、公立諏訪東京理科大学の地域活動に係る予算が反映されていないこと、コンビニ対応システム構築についてはマインバーカード使用による情報漏えいの危険性、また、国保税の加入者負担増に対する相応の措置

が取られていないことなどを指摘して反対。」

● 賛成意見

「第5次茅野市総合計画の実践実行と財政の健全性維持の2つの基本的な方針によって、予算が編成され、人口減少、少子高齢化の人口構造の変化に対応した基金の取り崩しに頼らない収支均衡の予算となつているため、賛成。」

議案第19号

平成30年度茅野市国民健康 保険特別会計予算について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ57億824万2千円と定めるもの。

【討論】

● 反対意見

「保険税率を10・81%も上げるのは、市民に負担を押し付けている。県に一元化することは事務の効率化にはなるが、市が市民の立場で市民の生活を守ることができなくなるので、反対。」

● 賛成意見

「県に一元化することで事務の効率化が図られ、地域内の保険税の安定化、さらに提供する医療の標準化が図られ、大きな枠でのメリットがあると考え、賛成。」

議案第20号
平成30年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について

可決

この議案は歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ7億466万6千円と定めるもの。

【討論】

●反対意見

「一般会計から繰り入れて、市民の負担を和らげる緩和措置を行うべきと考え、反対。」

●賛成意見

「行政の繰り入れには限界がある、私たちには国民皆保険制度を維持していく責務があるため、賛成。」

総務環境委員会

委員長 樋口 敏之

議案第6号

茅野市記号式投票に関する条例を廃止する条例について

可決

この議案は、茅野市長選挙における記号式投票を廃止するためのもの。

問 「記号式を辞める理由は何か。」

答 「投票日当日に投票所で行う選挙のみが記号式で、期日前

選挙は自書式になっている。記号式のメリットとして、投票が容易、疑問票や無効票が少なくなるといふことがあるが、統一性がないといふことが一番の理由。スタンプ等経費が余計にかかる、天候が悪い場合に開票の際にインクがにじみ出る、スタンプをいくつも押し無効票になるといふことがあった。選挙管理委員会で協議をした結果、統一性を図ること、短い期間で対応が容易であるということで、条例の廃止を提案することとした。」



記号式投票イメージ

議案第7号

茅野市組織条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、平成30年4月の公立諏訪東京理科大学の開学に伴い、関係規定を整備するための条例の一部を改正するためのもの。

問 「改正の理由として、公立諏訪東京理科大学の開学に伴い関係規定を整備するため、とあることについて説明を。」

答 「これまでの条例は、『諏訪東京理科大学に関すること』となっている。これは一部事務組合を立ち上げて公立化を進めるといふ事務だった。平成30年4月に諏訪東京理科大学が公立大学としてスタートすることに伴って、更に

大学と連携し、まちづくりを推進していくために、諏訪東京理科大学に限らず、他の大学とも連携したまちづくりを進めていくために『大学との連携に関すること』と改めさせていただきたい。」

議案第8号

茅野市国土利用計画審議会条例を廃止する条例について

可決

この議案は、茅野市国土利用計画審議会を廃止するためのもの。

問 「附則に生活環境保全条例も一部改正とあるが、これを議案の標題に記載しなくてもいいのか。」

答 「この条例の趣旨は、国土利用計画審議会条例を廃止するということになる。これに伴って、

生活環境保全条例に影響を及ぼす部分があることについては、附則で改正の処理をするということになっていないので、標題まで及ぶということはない。」

議案第9号

茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に準じた個人情報の定義の明確化等を行うための条例の一部を改正するためのもの。

問 「施行期日が公布の日からとなっているのはなぜか。」

答 「この条例は、先延ばしにしなくても現時点で動いている条例なので、決まり次第公布して施行していくことになる。」



議案第10号
茅野市職員の退職手当に関する
条例等の一部を改正する
条例について

可決

この議案は、国家公務員退職手当法等の一部改正に伴う国家公務員の退職手当の改定に準じた退職手当の改定を行うため、条例の一部を改正するためのもの。

問 「職員組合とはどのような話をしているのか。市が国の法改正に従わない場合はどうなるのか。」

答 「このように減額の改定になる場合には、必ず職員組合と協議を行い、了承を得た上で改定という手続きをしている。また、国に従わなくてもペナルティはないと思うが、市民に説明するためにも国に準じた形で給与の改定を行っている。」

問 「職員組合との協議ではどのような意見があったか。」

答 「組合からは、できれば下げてほしくないが、致し方ないという意見があった。」

問 「茅野市には人事委員会がないので人事院勧告に従うということなのか。」

答 「長野県内の類似市には人事委員会がないという状況で、

同様に市が人事委員会を持つという余力はないと思う。国と県の人事院勧告を参考に進めさせていきたい。」

経済建設委員会

委員長 小池 賢保

議案第1号

市道路線の認定について
(宮川茅野地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。場所は、宮川茅野地籍。宅地開発に伴う市道路線の認定。



現地調査 (宮川茅野地籍)

議案第2号

市道路線の認定について
(玉川栗沢地籍)

可決

この議案は、道路法第8条第2項の規定により市道路線を認定するもの。場所は、玉川栗沢地籍。宅地開発に伴う市道路線の認定。

議案第3号

市道路線の廃止について
(玉川北久保地籍)

可決

この議案は、道路法第10条第3項の規定により市道路線を廃止するもの。場所は、玉川北久保地籍。



現地調査 (玉川北久保地籍)

問 「市道の廃止と市道の未登記部分との交換の話があったが、評価額等分かれれば教えていただきたい。」

答 「面積についてはほぼ同等で、評価額と言うことで交換を進めて行きたい。」

問 「今回のような処置をするのは非常に良いと思う。道路にはまだ未登記の部分が有ると思うが、今後の進め方について。」

答 「道路に関して全てを把握することが出来ない状況で、境界立会の中で進めて行きたい。」

議案第14号
茅野市都市公園条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、都市公園法施行令の一部改正に伴い、都市公園の運動施設敷地面積の当該都市公園の敷地面積に対する割合を定めるためのもの。

問 「割合について何故100分の50としているのか、もう少し緩やかでも良かったのでは、検討はされたか。」

答 「検討した結果、現時点では、新設、改修等で施設面積が広くなる計画は無く、今まで100分の50の計画で進めてきたので、現行の割合とした。」

問 「今後100分の50を超える場合にはどう対応するのか。」

答 「施設面積が広がるような計画が出た時に条例を改正して行きたい。」

福祉教育委員会

委員長 伊藤 正陽

議案第11号

茅野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について



この議案は、国民健康保険法の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

問 「県に業務が移管されること
によって、茅野市に対するメリットと懸念されることは何か。」

答 「健康保険の加入者が、比較的所得の少ない方、あるいは高齢の方が多くということで、国保制度の維持が難しくなっている。それに対する対応の一つである。茅野市にとってというよりは、国保制度維持、あるいは国民にとつてというのがメリットの一つ。懸念されることとしては、統一化されるということ、今よりも税が上がる、あるいは下がるといふことは考えられるが、いずれ県内が統一化されていくので、それは仕方ないことかと思っている。」

問 「県へ一元化されても、茅野市で担っていくことがあるが、市は何を担っていくか。」

答

「県は、医療、国保を運営するための経費を計算する。県はその金額を各市町村に納付金額を決定し、示す。市町村は今までどおり、被保険者の方の資格の管理、あるいはその国民健康保険税率の決定、賦課徴収、保険事業等の実施を引き続き行っていくことになる。」

問 「市議会では国保税の検討はできなくなるのか。」

答 「制度の改正と税率の改正については、議案として上程し、審議・議決をいただくことになる。今後、賦課徴収の税率等については市議会で審議いただくということでは従前と変わらない。」

議案第12号 茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について



この議案は、国民健康保険法の一部改正に伴い、関係規定を整備するため及び国民健康保険税率を改正するためのもの。

問 「所得水準が高い市町村や医療費の水準が高い市町村は、国保税が高くなるということか。」

答

「今回の算定は県でしている。所得については所得水準、医療費については医療費の水準を加えて、各市町村に納付額を示している。医療費については低ければ低いほど、納付額も少ない。ただ、所得については高ければ高い分、納付額も高くなる。」

問 「税率改定に伴い、滞納者が、増える可能性があると思うが、その点について対処方法や軽減措置は考えているか。」

答 「税率を改定すると負担が増えるため、傾向としては滞納が増えるかと思っている。納付相談や口座振替の推進等努めていきたい。国民健康保険制度の維持のためには相互扶助、国民皆保険制度の仕組みを丁寧に説明して、支払っていただくようお願いしていきたい。軽減については、7割、5割、2割軽減と地方税法に税制改正に伴う軽減があるため、法定に基づいて行う。減免規定もあり、該当する場合は軽減ではなく減免で対応したい。」

問 「減免の話があったが、その軽減や免除分は誰が担うのか。」

答 「軽減された分については基本盤安定ということで国、県から頂いている。」

問

「ほんとに大変な人には支援していくことも大事だが、私たちが健康であることが大事だと感じる。横断プロジェクトで健康づくりとかでお金を使わないようにしていかないと、先には国保が破たんする危機がある。将来的な展望を踏まえながら、今の問題を対処してもらいたい。」

答 「市としては健全化に向けて、特定保健指導の推進による健康寿命の延伸や医療費の適正化、保険の収納率向上、いろいろな施策をうちながら、国保財政の健全化に向けて頑張っていきたい。」

【討論】

●反対意見

「この国民健康保険税については、はじまったのが、かなり前の話であり、当時の加入者は自営業者が主で、年金をもらっている方が占める割合はごくわずかだった。年金をもらう割合が増え、自営業者の割合が少なくなっているのが実態。税収が少なくなる一方で、しかもそれを支えているのが年金をもらっている世代になっている。国保税を維持していくためには、税制そのものの仕組みを変えていく必要がある。市の一般会計からの繰り入れが大事で、国に対して

は、国が負担すべきお金を増やす方向に転換していかない限り、国保税の値上げはずっと続く可能性が高い。そういう意味で、特に市の一般会計からの法定外の繰り入れを増やすべきだ。」

●賛成意見

「医療の高度化、想定以上の高齢化等の要因で国民健康保険制度についてはかなり限界にきていることは事実だと思う。この制度を守ることが日本国民全体の健康を維持することに関わりない。茅野市単独で見ると、10%の値上げは痛いところだが、これを全体で維持していかなくてはならない。我々が負担した分、他で助かる市町村があるわけで、日本全体でこの制度を維持していくという考えに立つと、賛成。」

議案第13号
茅野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

問 「どのような変化があるのか。」

答

「被保険者がそれまで住んでいた後期高齢者医療広域連合とは違う広域連合、例えば、長野県の方が、他道府県の施設や入院施設へ住所を変更した場合、東京の施設に住んでいる場合は東京の施設の広域が保険者になっていく。今回の改正に伴い、東京の施設等に入っても、長野県の広域が保険者になるというように制度が変わる。」



本会議における討論

議案第4号
第5次茅野市総合計画
基本構想について



●反対討論

「今までの茅野市総合計画は右肩上がりの時代で作られてきたが、第5次茅野市総合計画策定にあたっては、時代は変革点を迎え、これからは右肩下がり時代になる中で、同じ土台の上でものを考えてはいけない。右肩下がりの加速をとめ、次の時代に立ち向かおうとする努力が必要という思いから反対。」

●賛成討論

「私たちは東日本大震災を経験した。10年前と違うのは危機感。第5次茅野市総合計画はこれから先の人口減少、少子高齢化に立ち向かおうとする計画であり、支え合い、生きる活力を見出すことのできるまちづくりを目指している。目指すまちの将来像が明確ならば、茅野市が進めるまちづくりが揺らぐことはない。この計画を力強く進めることを期待して賛成。」

●反対討論

「市は『人口減少時代に対応する

茅野市のまちづくり』を盛り込んだ案だと言うが、基本構想に茅野市の人口動態の分析とその原因の追究が抜けている。【少子化問題】30代の男性の未婚率が高い。雇用形態が非正規で所得が少ないことにある。非正規労働者を減らすことが少子化対策の一つとなる。

【弱者支援】家庭の経済状況がどうなっているのか。【ソーラー発電と景観の問題】観光と景観は切り離せない。観光に立脚した産業を育成すると言っているが、負の部分がかかれていない。分析に立った政策を推進していくことを対案として訴え反対。」

●賛成討論

「第5次茅野市総合計画は、これまでの検証を経て策定された構想である。この構想を我々も含め、市職員が先頭に立ち、今まで以上に市民と共に進めていくことが必要。完璧な計画はできない。計画を進めて行く過程で修正や見直しを行っていくことが良いと考える。10年後20年後の茅野市を見据え、進めていくことが重要と考え、賛成。」



議案第18号
平成30年度茅野市一般会計
予算について

可決

●反対討論

「①国保税約10%、1万円の値上げ。国は繰り入れもやむなし」と認めているのに、していない。②後期高齢者医療の低所得者への保険料値上げもそのまま実施。③住民票等のコンビニ発行でマイナンバーの情報漏洩の危険を増大。④指定管理者制度で行政アドバイザーが所属する会社が委託を受けている。疑念を生みかねない対応。以上のことから反対。」

●賛成討論

「平成30年度から以降10年間を見据えた第5次茅野市総合計画がスタートする。これからのまちづくりのビジョンを推進する各種事業に伴う予算が随所に位置付けられた予算となっている。市民にとって、夢のある活力に満ちた住民に寄り添った予算になるように期待して、賛成。」

議案第19号
平成30年度茅野市国民健康
保険特別会計予算
について

可決

●反対討論

「国保の性質として低所得者が多い。生活保護の一手前のセーフティネットとしての医療を保障している。会社勤めの保険とは違い、国保は会社負担がないので負担が重い。また、国保は国民皆保険制度の最後の砦で、国保に一般会計から繰り入れすべきであり、繰り入れを求めて、反対。」

●賛成討論

「国民健康保険特別会計は、持続可能な制度とするため、また、事務の効率化を目指すとともに将来的に保険税の統一化を目指すものであり、賛成。」

議案第20号
平成30年度茅野市後期高齢
者医療特別会計予算
について

可決

●反対討論

「本予算は国が始めた軽減を国の都合で見直し、軽減が必要と認められていた方に負担を強いるもの。住民の身近でその生活に責任を負う

市議会として認めることができな
いため、反対。」

●賛成討論

「後期高齢者医療保険制度の創設から10年経過する中で、少子高齢社会が進行し、高齢者の医療費は毎年増加している。この制度を持続可能な制度として維持していくための予算であるため、賛成。」

議案第11号

茅野市国民健康保険条例の
一部を改正する条例
について

可決

●反対討論

「従来市町村が担っていた財政運営が県に移管になるという内容だが、長野県で統一して全ての市町村を平均化する中で、茅野市の場合には保険税が高くなる。また、国保の都道府県化は医療費の抑制のために各自自治体での競争をおおる狙いがある。医療費の抑制のための仕組みと言わざるを得ない。このような問題から、反対。」

●賛成討論

「国保の運営を県に移行することにより、国保の安定化を目指すとともに、県民の命をみんなで支え合うという意味が根本にある。国保の運営を県にゆだねることは正論と考え、賛成。」

議案第12号
茅野市国民健康保険税条例
の一部を改正する条例
について

可決

●反対討論

「値上げがなければ国保会計が成り立たないという考えには異論はない。しかし、その負担を国保加入者だけに求めることには賛成できない。国保会計の行き詰まりの原因は国の負担が減り続けた結果。国の責任を問うべき。また、値上げに対して、緩和策、軽減策、段階的な措置、一般会計からの繰り入れなどの工夫が見えない。国保加入者の層は低所得者が多い中で、1万円もの値上げは、市民に寄り添う姿が見えないため、反対。」

●賛成討論

「今後の検討に賦課徴収割合の再検討も必要だが、それよりも医療費、特に療養給付費を下げる取組が最重要であり、その取組に期待して、賛成。」



3月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 特…総合計画特別 総…総務環境 ○…賛成 経…経済建設 ●…反対 福…福祉教育 予…予算決算 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	松山孝志	丸茂岳人	伊藤正陽	小尾一郎	長田近夫	矢島正恒	両角秀喜	小松一平	伊藤勝	小池賢保	樋口敏之	篠原啓郎	山岸正衛	望月克治	宮坂武男	北沢千登勢	伊藤玲子	
5	茅野市固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	市道路線の認定について(宮川茅野地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	市道路線の認定について(玉川粟沢地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	市道路線の廃止について(玉川北久保地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	第5次茅野市総合計画基本構想について	特	可決	●	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
6	茅野市記号式投票に関する条例を廃止する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	茅野市組織条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	茅野市国土利用計画審議会条例を廃止する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	茅野市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	茅野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	茅野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	茅野市都市公園条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	茅野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成29年度茅野市一般会計補正予算(第6号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成29年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成30年度茅野市一般会計予算について	予	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成30年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成30年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成30年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成30年度茅野市水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成30年度茅野市下水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成30年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成30年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成30年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	1 専決処分の報告について																				

議決日は、3月22日の議会最終日(但し、議案第5号は、2月23日の開会日に即決)

茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

3月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
篠原啓郎	1 小学校の英語活動と英語教育について	(1) 現在の英語活動の状況について (2) 新たな英語教育に向けた準備について (3) 家庭との連携について
	2 小学校の道徳教育と縄文科について	(1) 道徳教育の現状と縄文科の効果について (2) 新たな道徳教育における家庭や地域との連携について (3) 児童の道徳習得状況の確認方法について
矢島正恒	3 第5次茅野市総合計画を見据えた平成30年度主要事業等について	(1) 第5次茅野市総合計画のまちづくり手法と、行政経営の基本理念及び手法について (2) 平成30年度予算編成の基本的な考え方及び方向性について
	4 新農業振興ビジョンに基づく魅力ある農業振興について	(1) 多様な担い手をいかに育てていくか、その方針及び具体的な施策について (2) 農地の維持及び活用を図るための、集落営農組織と専業農家など、具体的な組織の育成方法等について
宮坂武男	5 消防行政について	(1) 北部分署の建替えについて (2) 西部分署の今後について (3) 非常勤消防団員の報酬について (4) 非常勤消防団員の確保の施策について (5) NPO法人諏訪広域ドローン協力会との協定について
北沢千登勢	6 茅野駅西口の駐車場整備について	(1) 市営青空駐車場の拡充 (2) 身体障害者用駐車場の設置
	7 陸上競技場の設備の充実と駅伝大会の開催について	(1) 水濠の設置 (2) 照明設備の改善 (3) 市制60周年記念地区対抗駅伝大会の実施
	8 柳平市政3期目の総括と課題について	(1) 防災センター（防災拠点）整備の方向性 (2) 縄文プロジェクトの継続性 (3) 任期残り1年における市長の意気込み
伊藤玲子	9 地域福祉の更なる推進について	(1) 保健福祉サービスセンターの機能と役割の充実について (2) 福祉でまちづくりの推進と取組について (3) 住民参加や元気な高齢者による介護予防の取組について (4) 認知症に関する取組について (5) 在宅医療・介護連携支援の相談窓口の設置について
山岸正衛	10 使用済み小型家電のリサイクルについて	(1) 今までの回収量、及び収益について (2) 市内12カ所に設置の回収ボックスの利用状況について (3) 今後の継続について
	11 市内道路の舗装修繕集中実施について	(1) 第1候補の延長28.7kmの進捗状況について (2) 第2、第3候補の実施について
	12 学校林の整備について	(1) 現在の整備及び活用状況について (2) 現在の問題点について (3) 森林づくり県民税を活用し整備する事について
両角秀喜	13 保育園が繰り広げる若者世代応援策について	(1) 保育園3歳～5歳児の人口動態について (2) 保育園統廃合問題について (3) 自然保育と地域が織りなす若者応援策について
樋口敏之	14 市内小中学校における訪日教育旅行学校交流と英語教育推進アドバイザー導入後の子供たちの変化と今後について	(1) ロングモント市ホームステイ交流事業及び中学生台湾交流事業を含む訪日教育旅行学校交流の現状と今後について (2) 英語教育推進アドバイザーの成果と中学生台湾交流事業を絡めた平成30年度以降の展開について
松山孝志	15 第5次茅野市総合計画において工業政策を力点とすることについて	(1) 茅野市の産業に関する統計データについて (2) 茅野市の工業に関する統計データについて (3) 工業への支援のための政策について

	件名	要旨
長田近夫	16 学校での心肺蘇生教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について	(1) 市内小中学校におけるAEDの設置状況について (2) 教職員へのAED講習の実施状況について (3) 市内小中学校における教育の現状について (4) 心肺蘇生教育の今後の方向性について
	17 地域で取り組む「引きこもり」の社会復帰支援について	(1) 引きこもりの現状について (2) 生活困窮者自立支援法の必須事業の現状について (3) 同法任意事業の現状について (4) 2018年の同法の見直しに伴う自立支援事業の充実について
伊藤勝	18 茅野市上下水道について	(1) 上下水道の区域外地域をどの程度把握しているか (2) 区域外地域の要望はどのように考えるか (3) 茅野市上下水道の方向性をどのように考えるか (4) 使わなくなった白樺湖下水道施設の今後の利用は
	19 茅野版DMOの主商品の農家民泊について	(1) どのように進めているか、また、その着地点は (2) 現在の課題と解決策は
小松一平	20 公立諏訪東京理科大学のある茅野市の魅力あるまちづくりについて	(1) 学生の生活環境の整備に向けた取組 (2) 地域との連携、市民とのふれあいに向けた取組 (3) 就職環境の整備に向けた取組
	21 合葬式墓地の追加整備について	(1) 合葬式墓地の追加整備について
小尾一郎	22 高齢者クラブについて	(1) 高齢者クラブの現状について (2) 高齢者クラブに対する市の認識について (3) 高齢者クラブ活動への支援について (4) 市全体を対象とした高齢者クラブの連合会について
丸茂岳人	23 30年度予算から考えるこれからの茅野市について	(1) 予算全体のバランス (2) 公共施設管理計画の推進とPFIの活用 (3) 運動公園施設の整備及び改修工事 (4) 地域内公共交通の利用促進 (5) コワーキングスペースへの期待 (6) 公立諏訪理科大と茅野市の双方に恩恵をもたらす取組 (7) 観光を生かしたまちづくりの推進
伊藤正陽	24 焼却ごみ減量と収集について	(1) 有料焼却しているごみの年別変化、月別変化はどうか (2) アパート・マンション住民のごみの分別について、市の取組はどうか (3) 市のごみステーション設置箇所の実態と、設置基準への対策はどうか (4) ごみステーションの無い地域への対応はどうか (5) 徒歩でごみ出しが出来る環境整備をどう考えるか (6) 環境自治会連合会が、焼却ごみ減量とごみステーション設置問題で出来ることは何か
	25 生活保護の生活扶助費引き下げについて	(1) 政府の示した生活扶助費の引き下げ方針をどう考えるか (2) 生活扶助費の見直しにより、茅野市で影響が出る可能性のある制度・事業・措置等とその対象人数は (3) 生活扶助費の引き下げにより影響が出る可能性のある制度・事業・措置等での市の影響回避の取組は
小池賢保	26 茅野市の観光政策について	(1) 観光を活かしたまちづくりのポイントについて (2) 観光によるまちづくりができるための役割について (3) 持続可能な観光によるまちづくりについて (4) これからの観光施設整備の方向性について
望月克治	27 来年度から県が保険者となる国民健康保険について	(1) 今後の国民健康保険制度はどのように運営されますか (2) 市にはどの程度の裁量権がありますか
	28 維持可能な地域を構築するため市民意見をどのように集めるのか	(1) 総合計画基本構想のパブリックコメントに対して、市民意見はどの程度集まりましたか (2) 子育て世代の意見はどのように集めていますか

市民は議員の そこが知りたい!

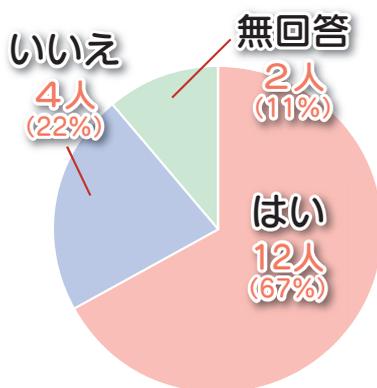
シリーズ 第2弾



職場体験に来た高校生

議会事務局に職場体験に来た高校生が作成したアンケートに議員18人が回答しました。(アンケート実施：平成29年12月6日)
アンケート結果を議会だよりに連載します。

Q1 茅野市は議員の人数は足りていると思いますか?

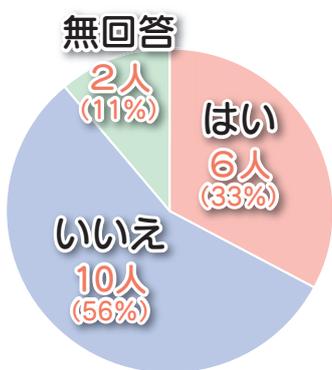


はい 「現市政課題の分担チェックがこの人数なら可。」

いいえ 「市政の自身は多様。ここをしっかりとチェックしていくためには多様な階層の議員が必要で、もっと大勢の議員がいると思う。」

無回答 「議会では検討の話はあるが、まだ議論されていない。」

Q2 今の報酬に満足していますか?



はい 「年金と合算でなんとか生活できる。」

はい 「活動内容とバランスが取れている。」

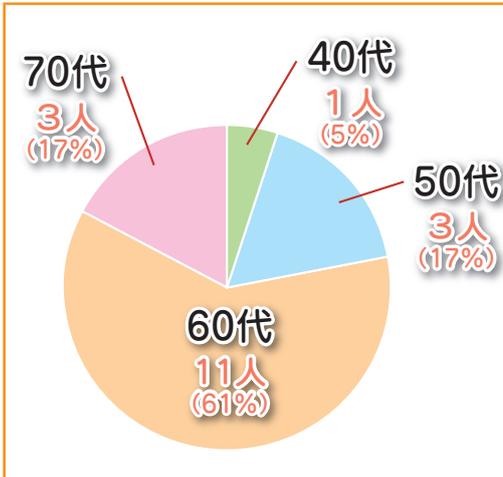
いいえ 「議員の報酬だけでは生活できない。」

いいえ 「知識を深め、研究するには政務活動費が圧倒的に足りない。また、子育て世代の報酬としては、苦しいのではないかと感じる。」

無回答 「市町村によって異なっていることから、行政の経済力との比較と考えると、報酬が多い少ないではなく、議員は何をするか、何ができるかが仕事と考える。」

無回答 「できれば上げてもらいたいが、その時の状況があると思うので回答できない。」

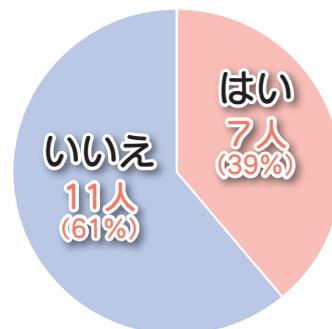
議員年代別 (H30.4.1時点)



他市との比較

	議員定数 (人)	人口(人) H30.3.1時点	議員一人あたりの人口(人)	一般議員報酬 (月額) (円)	政務活動費 (月額) (円)
茅野市	18	55,782	3,099	332,000	10,000
諏訪市	15	49,268	3,285	349,000	10,000
岡谷市	18	49,031	2,724	353,000	9,000
長野市	39	373,788	9,584	600,000	85,000

Q3 議員以外の仕事をしていますか?

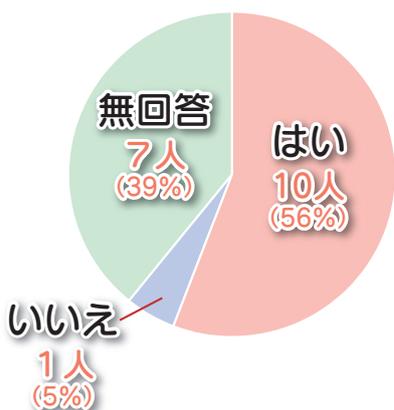


Q4 議員になって嫌だった仕事を教えてください。

A A 「市区や他の会議での挨拶。」
「議員の本業では嫌だったことはありません。本業ではないですが、懇親会はあまり好きではないです。」

A 「利害関係が対立する双方の言い分を聞くこと。」

Q5 次の市議会選挙に馬するつもりはありますか？



はい 「今まで勉強してきたまちづくりの知識と、やりきれしていないことを進めたいから。」

無回答 「地域推薦がなければ出られない。今のところ不明。」

茅野市女性団体連絡協議会主催

市議会議員さんと語る会に参加しました

1月25日に「市議会議員さんと語る会」が開催され、参加してきました。意見交換では、様々な視点から、多くの貴重なご意見をいただくことができました。ありがとうございました。



行政視察報告

議会運営委員会

タブレット端末機を活用した議会改革

茅野市議会においては、ペーパーレスによる環境保全の推進、議会活動の活性化、会議の効率化及び事務局の省力化を目指してタブレット端末機を平成二十九年度から導入しました。

本年一月、議会活動が活発で先進的取り組みを行っている愛知県安城市議会・三重県鳥羽市議会を訪問し、タブレット端末機を活用した議会改革の状況と課題等について調査致しました。

調査の結果、当市議会における専門委員会を中心とした研究検討を進めた中で導入したタブレット端末機に係るハード、ソフト、利用基準などは、望ましいものであり、また、今後の一層の議会改革の中心的ツールになるものと確認をしました。



参加者

- 委員長 小松一平
- 副委員長 丸茂岳人
- 両角秀喜
- 伊藤 勝
- 小池賢保
- 篠原啓郎
- 議長 両角昌英
- 副議長 伊藤玲子

編集室より

急速な社会の構造変化の渦の中で議会は

長年使っていたパソコンが再起不能になり、慌てて中古パソコンを購入した。HDではなくSSDを選択してみたが、この立ち上げが早いことに驚かされた。喜んで使っていたところ1年でバックライトが切れた。思い切って新品を購入。以前と比べると高性能機がそここの値段で手に入る。

記録媒体と言えば、フロッピーに始まり、CD、MD、DVD、BD、HDとどれも回転していたが、SSDは回転していない。アナログからデジタルの時も回転は同じだったが、今は画期的な変化の時なのだろう。茅野市議会も、もっと市民の皆さんの役に立つようと、議会改革を進めている。タブレット端末機を導入し、情報面でも充実をはかっている。これからも関心を寄せていただけたら、ありがたい。

議会広報部会 望月 克治